

2011年新年号

五省会ニュース

ごせいかい

NO.175

医療法人財団五省会

医療法人 西能病院

西能みなみ病院

介護老人保健施設 みどり苑

発行人 西能淳



棚田白景 撮影：井上 学

新たな一年を迎えて

昨年一月、西能竜前理事長が永眠し、服喪のなかで迎える新年となりました。予期せぬ辛い出来事に、患者さんをはじめ、多くの方々にご心配をおかけしたことと存じますが、財団五省会の役職員一丸となつての奮起と、関係各位の温かいご支援、ご高配のおかげをもちまして、無事に新しい年を迎えることができました。心からの感謝を申し上げます。

昨年三月の理事長就任の会の席上、「伝統と革新を両立させて今後の医療福祉に取り組みたい」と申し上げました。その言葉通り、昨年一年間は五省会という組織が積み上げてきた「伝統」の力をさまざまな場面で実感することができます。他方、この国の社会制度は、医療福祉に限らずあらゆる分野で大きな転換期にあり、今後は「革新」的な視点も必要とされるものと思われます。「両立」などと聞こえのよいフレーズを実践するのは生易しいことではないでしょうが、絶えず患者さん、利用者さんの声に耳を傾けながら、職員一同、本年も元気にがんばって参りたいと思います。

西能病院の新築事業は、今春の着工が目前となりました。「患者さんにとっても職員にとっても、すばらしい新病院が造り上げられること」という前理事長の宿願を実現せねばなりません。何とぞ各位のご支援をお願い申し上げます。

年頭に際し、平成二十三年度の目標を記します。

「思いやりと品位を大切に、仕事に取り組む」

「日々の業務を見直し、常に改善 前進させる」

「創立五十周年を前に、五省会の役割と責任を再確認する」

今年は、未来を見据えて、医療や介護という私たちの仕事の意義や本分を見つめ直す一年としたいと思います。そうすることが、来春の創立五十周年と新西能病院オープン以後の五省会の将来を切り拓いてくれるものと信じります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

健康セミナー 42



西能みなみ病院 内科医師

石原 元

糖尿病のリスク ないですか？



動不足」と「食の欧米化」です。高齢者ほどこの生活習慣にさらされた時間が少ないので、時間の経過とともに、高齢者の糖尿病が増えています。そうな方でも、この生活習慣にどうぶつとはまれば糖尿病になりやすいということです。

同様に、家系的にリスクのなさないこと、身内に糖尿病がいなければ、それなりに「生活習慣を見直し、『からだを動かし』》《腹八分目》に、が基本です。

●では、どうするか？

「身内に糖尿病がいれば、なすこと、身内に糖尿病がいなければ、それなりに「生活習慣を見直し、『からだを動かし』》《腹八分目》に、が基本です。

《からだを動かす》

あえて言うなら、整形外科疾患を悪くしてまで、「からだを動かせ」とは言いません。また、寒い冬、からだを動かそうと雪の中、散歩するのを考えもの。膝・腰にも、

運動できないなら、こちらをがんばってください。ザックリ、「後ろめたくない、他人に見られて恥ずかしくない献立を」と言えば正解でしようか？ フライ・天ぷら

O.Kです。お肉もO.K。何を食べていいことではありません。でも、山盛りになつていませんか？

单品になつていませんか？ 肉が続いて、魚を忘れていませんか？

昔ながらの和食なら堂々と食べてください。間食も同じこと、食べ

終わつた後、「食べ過ぎた」とならないように。

● 血は水よりも濃い
ことわざ本来の意味は別として、糖尿病になる・ならないに「血」の変化は、「モータリゼーション」と「飽食の時代」つまり、「運

2007年のデータで、糖尿病が強く疑われる人890万人、糖尿病の可能性を否定できない人1320万人。この数は今後増えることが予想されます。

日常診療での経験から、あえて学問的でなく、主に糖尿病でない人（まだなつていない人）向きにお話します。

糖尿病なら子どもはこれこれの確率で糖尿病になる」とはいえません。しかし、両親ともそなうなら、自分もいつかはと覚悟して、リスクを減らす努力をして下さい。

といつても、糖尿病の方が上の世代（親だけでなく、その兄弟姉妹）にいなくても安心できません。糖尿病の家系ではあるが、たまたま発病しなかつただけかもしれません。そこが、糖尿病が生活習慣病でもあるゆえんです。戦後の生活習慣の変化は、「モータリゼーション」と「飽食の時代」、つまり、「運

診療で感じています。「片親が糖尿病なら子どもはこれこれの確率で糖尿病になる」とはいえません。しかし、両親ともそなうなら、自分もいつかはと覚悟して、リスクを減らす努力をして下さい。

糖尿病なら子どもはこれこれの確率で糖尿病になる」とはいえません。しかし、両親ともそなうなら、自分もいつかはと覚悟して、リスクを減らす努力をして下さい。

暮しの中でからだを動かそう



● 果物・野菜、少し注意を

外来で、「食べ過ぎてない」と言われる割に、具体的に話をお聞きするとギャップが大きいのが果物。りんご・みかん・干し柿など、おいしいです。ビタミン・ミネラル豊富です。でも、糖質もたっぷり。たとえば、りんごなら1個まるまる食べられます。でも、食べ過ぎです。患者さんには、意識をもつてもらう意味も含め、「りんごは、1日4分の1個」と言っています。また、野菜といつても、ジャガイモ、サツマイモ、かぼちゃなどは、別です。戦時中主食に代用されたことからも、栄養素としてはお米に近いと考えて下さい。焼き芋をたべれば、野菜というよりおにぎりを食べることになります。

あなたの生活習慣チェック

- ① 健康診断は定期的に行っている
- ② 太りすぎていない
- ③ お酒を飲みすぎていない
- ④ 喫煙していない
- ⑤ 規則正しい生活をしている
- ⑥ 睡眠不足ではない
- ⑦ 十分休養を取っている
- ⑧ 趣味などを楽しんでいる
- ⑨ 健康的な生活に関心がある
- ⑩ 塩分・糖分を取りすぎない
- ⑪ 腹八分目を心がけている
- ⑫ 運動する習慣がある
- ⑬ なるべく階段を利用している
- ⑭ 速足で歩くようにしている

「はい」の数が多いほど、生活習慣が改善されています。継続が大切なので、ときどき、チェックしてみよう!

● おわりに

日常的に体重の増減をチェックします。体重が増えれば、食べ過ぎです。適正体重が維持されている、太っている人がやせた、ならば、その生活習慣は及第点です。

とはいっても、なる時にはなる糖尿病、早期発見が大切です。市の検診（メタボ健診）には糖尿病の項目もあります。

常診療では、健診や一般採血でたまたま見つかることが多く、自覚症状がきっかけになることはあまりないという印象です。しかし、私が診断した直近の例は、「やせた」と言つてこられた方です。口渴・多飲・多尿・体重減少・易疲労感といった自覚症状がありましたら、受診をお勧めします。

昨年春、家族が増えた。名前はマロン。薄茶色、縞模様のスコティッシュフォールドで、名前のとおり、垂れた耳がとても愛らしい猫である。子どもが生まれたときのように、妻といろいろ名前を出し合うがどれもピンとこない。そのとき末娘が「マロンがいいんじゃない」と。うまい! こうして娘? が一人加わった。

最近膝がさびしいと思ったら、中高学年となつた息子たちがリビングを離れ、自室で過ごすことが多くなつていて。また、思えば自分の子どものころ、家には犬、猫があり、受験勉強の時にいつも膝の上にいたのはシャム猫のミィで、とても気持ちが癒された。そんなわけで猫を飼うこととした。狙いは的中した。リビングに活気が戻り、というか、マロンがいると、ころに子どもたちが集まるようになり、我こそはと撫で、抱っこし、可愛がり、家がにぎやかとなつた。いまではマロンはコタツや自分のハウスの中など、特に名付け親である末娘の目を避けるようにして、静かなところで寝る始末である。しかしどきには、息子たちが机でノートを広げていると、その上に寝そべり、撫でてとにかく喉を鳴らして由える。自然と子どもたちの表情も和んでいる。何ともよくできた猫である。

手術で遅くなつた日には、帰るとマロンが出迎えてくれるということも少なくない。今話題のメタボの徴候が見えてきたこともあり、晩酌（大好きなビール）を止めた私にとっても、帰宅後膝に入つてくるマロンは、疲れを癒してくれる大切な存在となつていて。

カルテの余白

五省会のドクターを紹介します



西能病院 整形外科医長
あおきまさと
青木 雅人(41歳)

得意分野	脊椎脊髄病外科
趣味	スポーツ観賞
スポーツ	テニス
好物	ビール

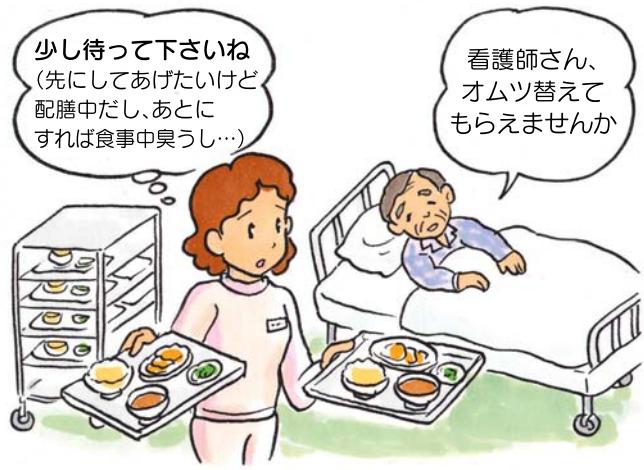


3施設合同で 第22回五省会研究発表会

日常業務の課題解決をめざして



(図1) どちらが先? 配膳とオムツ交換



初の倫理研修会でしたが、6回に分散して実施、看護職ほぼ全員が受講することになります。これにより、倫理的問題を個人的な悩みとするのではなく、倫理綱領や原則からグループで分析、共有することで、看護職や病院全体の問題として

いた。

「事例分析によって倫

理性を認識した」「とくに意識しなかつたが、従来から倫理原則に基づいて行動していた」

などでした。研修後

の調査では、「患者の看護」が一番多く、次に「病院環境・システム」「医療・治療関連」などでした。研修

事前調査では、ほとんどの看護師が倫理問題で不安や疑問を持ち、業務を行っていました。

例分析を行いました。例えば、「配膳中にオムツ交換の要求があつた場合、配膳とオムツ交換のどちらを優先する?」と

いう課題などを意見交換し、多様な考え方があることを学びました。(図1参照)



そこで、パンフレットやビデオを使って勉強会を実施しました。その結果、「口腔ケアのポイントがわかつた」「ケアがやすくなつた」という意見があり、情報の提供や勉強会の継続が必要であることがわかりました。そこで、口腔内乾燥の強い患者、舌苔のある患者、開口困難な患者等に対し、標準的な方法で口腔ケアを行うとともに、新入職員に対しても効率のよい指導ができるように「口腔ケア基準」を作成しました。さらに、患者、ご家族に対し、状態に合った口腔ケア用品の提示・依頼ができるようになります。



12月19日、ボルファートとやまホールにおいて、医師、看護師、薬剤師、リハビリ・スタッフなど200人が参加し、「医療法人財団五省会研究発表会」を開催しました。13題の研究テーマは、いずれも日常業務の中で浮かび上がってきた疑問や課題で、調査・点検し、改善につなげ、さらに専門性を高め、医療介護の質的向上を図るものでした。本誌では、患者さん、利用者さんに身近なテーマを取り上げた研究を紹介します。

看護倫理研修会からの学び

看護職員が倫理的問題として取りあげた事例分析

西能病院 加藤清香

てとらえ、倫理的視

点をもつて判断や行動につなぐことができるようになりました

演題および発表者

施設部署名	演題	発表者
1 西能みなみ病院 多職種	西能みなみ病院における入院患者の変化について ～重症化する医療療養型病院～	総務主任 五十嵐 均
2 西能病院 診療部リハビリ科	西能病院における作業療法の紹介	作業療法士 本郷 浩子
3 みどり一般棟	面会者数調査を通じてわかったこと ～面会が在宅復帰に繋がる!～	介護福祉士 奥野 浩文
4 西能病院 事務部施設	病院の建物管理と保全について	施設労務員 石倉 喜一
5 西能病院 看護部3病棟	術後食の摂取率の現状把握と検討	看護師 高瀬奈緒美
6 地域連携室	五省会地域連携室の現状と課題 ～各施設の窓口として～	社会福祉士 若林/竹林/細江
7 西能病院 看護部3病棟	申し送り短縮に向けて	看護師 花木喜代美
8 西能病院 看護部2病棟	装具装着患者に対しての効果的な指導について ～ダーメンコルセット装着方法の指導の現状から～	看護師 北川富士子
9 みどり事務部	満足度調査を実施して ～みどり苑事務からできること～	事務員 菊元加奈子
10 西能みなみ病院 看護部2病棟	セルフケア困難な患者の口腔ケア ～口腔ケア基準の作成～	看護師 杉坂早苗
11 西能みなみ病院 診療部リハビリ科	当院におけるリハビリテーション効果の検討 ～ADLの観点から～	理学療法士 牧野由香
12 みどり苑 認知症専門棟	その人らしい快適な生活を求めて ～個人に合った排泄ケアへの取り組み～	介護福祉士 福澤太郎
13 西能病院 看護部教育企画委員会	看護倫理研修会からの学び ～看護職員が倫理的問題として取りあげた事例分析～	看護師 加藤 清香

口腔ケアとは、口の中の食物残渣物を取り除いて感染予防する意味と、積極的に刺激を与えることで口腔の機能低下を予防する意味があります。

西能みなみ病院では、セルフケアが困難な患者さんの口腔ケアを看護職・介護職で行っています。これまでセルフケア困难な患者への手技や手順を決めておら

た。今後、さらに充実したケアを行っていきたいと考えています。

面会者数調査を通じてわかったこと

面会が在宅復帰に繋がる!?

みどり苑 一般棟 奥野浩文

みどり苑では、面会簿に記入されない方もあるため、職員の目視により、9カ月にわたって面会者数を調査しました。

調査期間の2階一般棟の面会者の延べ人数は、7175名で一日平均26・3人、1カ月に8回以上の面会があつた人は、60名の利用者中平均20名でした。曜日別で見てみると、週末が多く、次に入浴日である月・木曜日となっています。月別にみると、1月、3月、4月など年の初めや年度の変わり目に、挨拶や報告などで面会者が多くなっています。

面会者調査を始めたことで、面会者が誰の面会で、どういう間柄なのか意識するようになります。また、面会の多い群では1年6ヶ月未満の利用者の面会が多く、対するB群のほとんどは1年6ヶ月以上入所しています。調査期間中に8名が在宅復帰しましたが、A群に含まれた利用者は5名、内訳は6ヶ月未満5名、1年未満2名、1年6ヶ月以上1名でした。在宅復帰には、月8回以上の面会と1年6ヶ月未満の入所期間がひとつ目の目安と考えられます。ご家族には面会を増やしていただき、情報提供により安心して在宅復帰できるよう支援して、中間施設としての当苑の役割を果したいと思います。

面会者数が月8回以上ある利用者をA群とし、月4回未満の利用者をB群として比較したところ、入所期間をみるとA群では1年6ヶ月未満の利用者の面会が多く、対するB群のほとんどは1年6ヶ月以上入所しています。調査期間中に8名が在宅復帰しましたが、A群に含まれた利用者は5名、内訳は6ヶ月未満5名、1年未満2名、1年6ヶ月以上1名でした。在宅復帰には、月8回以上の面会と1年6ヶ月未満の入所期間がひとつ目の目安と考えられます。ご家族には面会を増やしていただき、情報提供により安心して在宅復帰できるよう支援して、中間施設としての当苑の役割を果したいと思います。



おいしく

地産地消で 健康づくり

ヘルシーメニュー

脱メタボ
編

代謝を上げてメタボ予防

メタボ予防に食べ過ぎは厳禁です。代謝を上げるポイントは、カロリーを減らしてもたんぱく質は減らさないこと、そして、体の温まる野菜をたっぷり食べることです。寒くなるこれから季節は運動量も減り、代謝が下がります。バランスの良い食生活で代謝が活発になる体を作り、寒い冬を乗り越えましょう。

〈メニュー〉

- ☆ご飯
- ★氷見牛と大根の土鍋煮
- ☆きんぴらごぼう
- ☆白菜と鮭の粕味噌汁
- ☆りんご

1人あたり栄養価	
エネルギー	686kcal
たんぱく質	27.2g
脂質	15.0g
炭水化物	102.5g

〈レシピ〉

★氷見牛と大根の土鍋煮 材料2人分

牛薄切り（もも）	70g	B	昆布出汁	200ml
大根	400g	B	酒	大さじ1/2
ネギ	15g	B	みりん	大さじ2
A	〔ににくすりおろし 少々 しょうがすりおろし 少々 酒 大さじ1/2 しょうゆ 小さじ1/2	C	砂糖	大さじ1/2
		C	しょうゆ	大さじ1/2
			白胡麻	適量



〈作り方〉

- ①大根は皮をむいて厚さ3cm程度のいちょう切りに、昆布は水につけて戻し、汁を200mlとる。
- ②牛肉は食べやすい大きさに切り、Aを加えて軽くもみこんでおく。
- ③土鍋に②を入れ火にかけ、牛肉を炒めて火が通ったら取り出す。
- ④土鍋にBを入れ火にかけ、沸騰したらCと大根を加え、蓋をする。
- ⑤土鍋に牛肉を戻し、さらに煮汁がなくなるまで弱火で煮て、味をしみこませる。
- ⑥煮汁がなくなってきたら最後に炒った白胡麻をたっぷりと加え、全体を混ぜて器に盛る。
- ⑦上からネギをたっぷりかけて、お召し上がりください。

みんなで作った貼り絵

西能みなみ病院では、入院中の患者さんのリハビリとして、また、単調な療養生活に潤いがあるように、ぬり絵や折り紙などをして協力して、誰もが子どものころに経験した貼り絵に挑戦しました。浦島太郎と桃太郎の絵で、童謡を口ずさみなぎらの作業でした。また、縦横90cm×110cmと大きいので半年もかかり、おかげで、これをきっかけに会話を増えました。

製作グループのひとり、金谷幸江さん（写真説明）私たちが作りました。石田みよさん、波和子さん、島津宗雄さん、杉安汐子さん、玉生のぶさん、永守董子さん、古守はや子さん、三鍋清範さん、和田敏雄さんと、

西能みなみ病院

リハビリ貼り絵製作グループ



ば
れ
ば
れ

くゅつくり・おだやかにく

ちょうど元気になる話

江さん（85歳）にお話を聞きました。「作るのは楽しいですね。これを見るたび、きれいに貼ろうと一生懸命だったことを思い出しますよ。孫に、自慢もしました。次は金太郎を作りたいです」金谷さんは、若いころから手仕事が好きで、群馬の家政女学校で洋裁や和裁などを習い、自分のものは自分で作ったそうです。夫の転勤で富山に来てからは、編機でセーターなどを編み、多い用には五万円以上も稼ぎました。

六十歳のころ、屋根雪をおろしている最中に脳梗塞で左半身不随になりました。これは何度もありました。でも、今は小杉の孫が迎えに来てくれ、仏壇に線香あげてから、みんなで食事をするのが楽しみですよ」と、新聞を読んだり、パズルをしたり、金谷さんは入院中でも充実した生活をしておられます。

（写真説明）私たちが作りました。石田みよさん、波和子さん、島津宗雄さん、杉安汐子さん、玉生のぶさん、永守董子さん、古守はや子さん、三鍋清範さん、和田敏雄さんと、

職場での健康維持のために

健康維持のために

西能みなみ病院総務主任

五十嵐 均

過日、西能みなみ病院で、職場での「腰痛予防体操＆手軽にできるリラックス法」の研修があり、参加しました。

最初に息を少しづつ長く吐き出

す呼吸法を学び、続いて椅子に座つ

てできる腰痛予防体操をしました。

次に、二人組になって、片方が手のひらを軽く握つて相手の背中をリズミカルに叩きます。さらに両手の指を広げて交互に素早く叩きます。交換してそれぞれの動作を繰り返します。叩いてもらうと思いつれてみんなの表情も和らいできました。

指導しているのは富山県国際健康プラザ、メンタルヘルスケア講師の滝上節子さん。近年、仕事上でストレスを感じる人が6割を超え、職場での心のケアは不調者の発生防止になり、コミュニケーションの活性化につながることです。この研修も、中央労働災害防止協会による「健考改善支援事業」として実施されました。



滝上さんによると、大切なのはリラックスすること。頭と心のバランスを正常化させ、筋肉の緊張が緩み、呼吸がゆっくりになります。これを意識的に行うことで、心身の疲れが癒えます。

これを行うことで、心身の疲れが癒えます。これを意識的に行うことで、ストレス状態を最小限にとどめることができます。

また、休養は、生きがいのあるライフスタイルを創造するためにも大切とのことです。

私も、日頃同じ姿勢でデスクワークを行っているので、これらの方法を取り入れ、健康保持に努めようと思います。

福祉用具の使用

今回は前回に引き続き、「入浴のための環境整備」と「介助のポイント」について説明します。

前回は浴室の改修について説明しましたが、工事をしなくて簡単に設置できる便利で安全な福祉用具があります。

まずは浴室の椅子です。滑りにくく、高さを変えられ、衛生的な作りになっています。身体を洗うときや浴槽内に入る前に一旦腰掛けることができます。浴槽内に入れる小さな椅子もあります。浴槽から立ち上がりやすくするもので、滑らないよう安全な仕組になっています。また、浴槽の縁に取り付けられる手すりや、浴槽の底に敷く滑り止めマットも便利です。

ハートフル・ケア

楽らく介護

その21

入浴②

入浴介助のポイント

これらの福祉用具は介護保険を利用すれば安価に購入できることがあるので、担当のケアマネージャーさんに相談してください。



みどり苑で実際に使用している福祉用具

実際に介護する時の注意点ですが、入浴時は普段と違い衣服を着用しておらず、大変滑りやすい状態になっています。そのため、身体を抱えたり、支えたりする介助に細心の注意を払う必要があります。自分で行う際には、専門家に介助の方法を習ったほうが安全です。また、介護保険などを利用して、ヘルパーさんに手伝つてもらつたり、通所サービスなどで入浴し、無理しないことも一つの方法です。

(みどり苑支援相談員 長嶋千尋)

診療科	平日診療(月～金)						休日診療(土・日・祝)		
	時間	月	火	水	木	金	時間	土	日・祝
整形外科	午前 (8:30～11:30)	市村 和徳 信清 正典 青木 雅人	根塚 武 橋口 津 堂後 隆彦	仲井間 憲成 川口 善治 他1名(交替制)	根塚 武 仲井間 憲成 他1名(交替制)	市村 和徳 松下 功 信清 正典	午前 (8:30～11:30)	市村 和徳 信清 堂後 正典 隆彦	交替制 西能 健 (第3日曜)
	午後 (4:00～6:30)	堂後 隆彦 根塚 武 (5:30～) 他1名(交替制)	仲井間 憲成 信清 正典 青木 雅人	市村 和徳 松下 功 橋口 津	根塚 武 (～6:00) 橋口 津 堂後 隆彦 ★スポーツ整形も行います	市村 和徳 青木 雅人	午後 (1:30～4:30)	根塚 武 橋口 津 青木 雅人 ★スポーツ整形も行います	交替制 西能 健 (第3日曜)
内科	午前 (8:30～11:30)	森田 弘之 (消化器)	森田 弘之 (消化器)	松井 祥子 (呼吸器／～11:00) 森田 弘之 (消化器／11:00～)	森田 弘之 (消化器)	大黒 正志 (老年病)	午前 (8:30～11:30)	鈴木 康弘 (消化器)	休 診
	午後 (3:00～5:00)	森田 弘之 (消化器)	森田 弘之 (消化器)	森田 弘之 (消化器)	森田 弘之 (消化器)	休 診	午後	休 診	休 診
内科 糖尿病	午後 (3:00～5:00)	小林 正							都合により担当医が変更になる場合があります。
眼科	午前 (10:30～12:00)					中村 友子			ホームページ「週間担当医師」で最新情報をご確認ください。
麻酔科	午前 (9:30～11:30)				増田 明 (顔面・眼瞼痙攣外来) ★予約制				
リハビリテーション科				午前8:30～11:30 午後4:00～6:30			午前8:30～11:30 午後1:30～4:30		

午前9:00～12:30	月	火	水	木	金	土	日
内 科	石原 元	森本 茂人	石原 元	石原 元	石原 元	石神 慶一郎	休 診
リハビリテーション科	浅野 裕	浅野 裕	浅野 裕	浅野 裕	休 診	浅野 裕	休 診

- 入所サービス
- ショートステイ

- デイケア(通所リハビリテーション)
- 居宅介護支援事業所

ボランティア募集 月・火・木・金の午前・午後
入浴後のドライヤーかけ／利用者様の活動サポート／話相手

お知らせ

■ 西能病院一年始の診療について 整形外科・リハビリ科

1月1日休診
2日・3日診療 (8:30～16:30)
内科・糖尿病内科・麻酔科・眼科
1月1日～3日休診

■ 求人案内

看護師・薬剤師・社会福祉士
募集中！

平成24年春、西能病院移転新築に
向け、上記の職員募集中。詳しくは
ホームページをご参照ください。

<http://www.sainouhp.or.jp/>

■ 西能みなみ病院クリスマス会

12月9日、クリスマス会が開催され、
日本舞踊研究会県支部華の会（筏井
豊華城会主）のステージや、看護師
らによるよさこい踊りを楽しみました。
大泉逸郎さんの「これから音頭」
では、手を横に広げたり、こぶしを
突き上げたりする振り付けで、華の
会メンバーとともに、患者さんもり
ハピリをかねていっしょに踊りました。



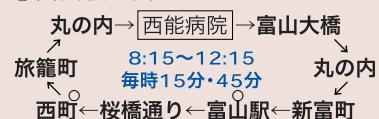
西能病院通院バス

月曜～土曜 午前運行(日曜、祝日は休み)

○印は常時停留所、その他は臨時停車します。

★詳細は受付でおたずねください

①富山駅・西町コース



②婦中・長沢・金屋方面



③吳羽・中老田・北代・田刈屋方面

